

投資目的

iシェアーズ・コア 米国債7-10年 ETF(為替ヘッジあり)は、FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用円ヘッジ円ベース)への連動を目指すETF(上場投資信託)です。FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用円ヘッジ円ベース)は米国財務省証券の残存期間が7年以上10年未満の銘柄から7年債指標銘柄(オン・ザ・ラン銘柄)を除外し、各銘柄の収益率を時価総額にて加重平均した債券インデックスです。為替の変動リスクを回避するために、為替ヘッジが行われています。

連動対象指数の詳細は[こちら](#)。

3つのポイント

- 米国の国債(満期7年以上10年未満、7年債指標銘柄を除く)に投資しながら米ドルと円の間の変動リスクの低減を図ることができ、分散投資および長期的な資産形成を目指すために活用できます。
- 東京証券取引所(東証)に上場している円建ての米国国債ファンドで、日本株と同じように日本時間で取引できます。
- NISAにおける「成長投資枠」の対象ファンドとして投資ができます。

設定来のパフォーマンス推移



上記のパフォーマンス推移は、ファンドに1万円投資し、分配金(税引前)を当該ファンドに再投資したと仮定して算出したものです。ファンドの費用(管理報酬およびその他の費用)は控除後です。上記のパフォーマンス推移は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

運用実績(%)

| | 累積リターン | | | 年率リターン | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 年初来 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来 |
| ファンド | -3.22% | -4.73% | -6.26% | -10.17% | -8.67% | -4.04% | -3.18% |
| ベンチマーク | -3.26% | -4.84% | -6.39% | -10.64% | -8.82% | -4.10% | -3.23% |

年次リターン

| | 2023 | 2022 | 2021 | 2020 | 2019 |
|--------|--------|---------|--------|-------|-------|
| ファンド | -2.69% | -17.47% | -3.97% | 8.04% | 5.87% |
| ベンチマーク | -3.16% | -17.65% | -3.61% | 8.49% | 5.43% |

上記のファンドのパフォーマンスに関する情報は、税引前分配金を再投資することを前提に算出したものです。ファンドの保有にかかる費用(信託報酬およびその他の費用)については、費用控除後の実績を表示しています。「累積リターン」は対象期間の基準価額の変化率です。「年率リターン」は対象期間の基準価額の変化率を複利計算により1年あたりの率に換算しています。上記の運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また当ファンドの基準価額の騰落率と連動指数の騰落率の間に乖離が発生することがあります。本資料は情報提供のみを目的として提供するものであり、当ファンドの受益証券の売買を提案あるいは勧誘するものではありません。記載された運用実績は将来の運用成果を示唆するものではありません。ブラックロックは当ファンドの運用成績を保証しません。当ファンドに関して、元本を割り込むなどの投資リスクがあります。投資をご検討される際は、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を十分に確認の上、ご自身でご判断下さい。

ファンドの詳細

| | |
|----------|--|
| アセットクラス | 債券 |
| 証券コード | 1482 |
| ISIN | JP3048250009 |
| SEDOL | BYVFBR5 |
| 商品分類 | 追加型投信海外債券ETF |
| 設定日 | 2016年05月26日 |
| 連動対象指数 | FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用円ヘッジ円ベース) |
| 保有銘柄数 | 12 |
| 純資産総額 | 150,284,531,200 JPY |
| 信託報酬(税抜) | 年0.140% |
| 信託報酬(税込) | 年0.154% |
| 発行済口数 | 89,399,047 |
| 取引所 | 東京証券取引所 |
| ファンド籍 | 日本 |
| 基準通貨 | 円 |
| 売買単位 | 1 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年1月11日,4月11日,7月11日および10月11日 |

※運用管理費用(信託報酬)等に関する詳細は、3ページ「当ファンドにかかる手数料・費用等について」をご確認ください。

※保有銘柄数はフォワードおよび先物を含みません。

連動対象指数について

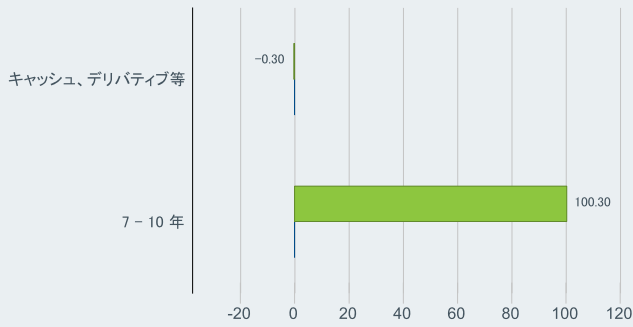
FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用円ヘッジ円ベース)は、米国財務省証券の残存期間が7年以上10年未満の銘柄から7年債指標銘柄(オン・ザ・ラン銘柄)を除外し、各銘柄の収益率を時価総額にて加重平均した債券インデックスです。為替の変動リスクを回避するために、為替ヘッジが行われています。

上位保有銘柄(%)

| | |
|----------------------|-------|
| TREASURY NOTE (OLD) | 10.20 |
| TREASURY NOTE (OTR) | 9.94 |
| TREASURY NOTE (2OLD) | 9.19 |
| TREASURY NOTE | 8.65 |
| TREASURY NOTE | 8.23 |
| TREASURY NOTE | 7.89 |
| TREASURY NOTE | 7.88 |
| TREASURY NOTE | 7.87 |
| TREASURY NOTE | 7.80 |
| TREASURY NOTE | 7.76 |

※上記の保有銘柄は記載時点のものであり、現在または将来の構成比を必ずしも表すものではありません。※当社内のデータを用いて「保有銘柄一覧」を表示しております。

残存期間別投資内訳 (%)



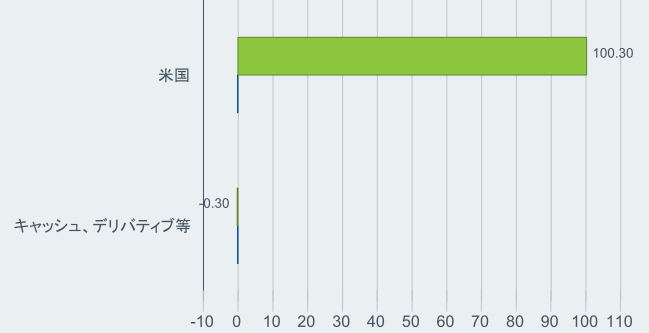
※上記は記載時点のものであり、現在または将来の構成比を必ずしも表すものではありません。
※当ETFに係る「残存期間別投資内訳(%)」につきまして、2019年6月末よりデータソースを変更致しました。
データソースの変更により、投資信託協会の定める基準により用いるデータに代わり、当社データを用いて「残存期間別投資内訳(%)」を表示しております。

ポートフォリオ特性

| | |
|--------------|------|
| 加重平均残存期間(年) | 8.52 |
| 実効デュレーション(年) | 7.22 |

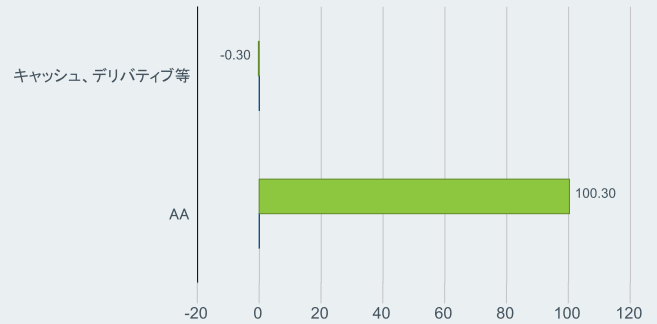
※ 加重平均残存期間はファンドの保有する証券の元本の償還までの期間を加重平均したもので、債券が満期前に全部または一部償還される可能性も考慮されています。
※ 実効デュレーションは、金利の変動によってポートフォリオの価額がどの程度変化するかを表す目安です。債券が満期前に全部または一部償還される可能性、金利の変化の結果生じる債券の将来のキャッシュフローへの影響を考慮して計算されており、ブラックロックの独自のモデルに基づいています。また、レバレッジ、ヘッジ取引およびデリバティブを含む債券以外の保有資産があった場合には適宜それらを考慮して調整されています。

市場別内訳(%)



※上記は当ファンドが投資対象とする外国籍ETFの資産構成を参考情報として表示しており、上記は当ファンドで直接保有する証券の資産構成を示すものではありません。
※上記は記載時点のものであり、現在または将来の構成比を必ずしも表すものではありません。なお、当社内のデータを用いて「市場別内訳(%)」を表示しております。

信用格付け (%)



※上記は記載時点のものであり、現在または将来の構成比を必ずしも表すものではありません。
※格付けは、S&P、ムーディーズ、フィッチの各格付け機関のレーティングを平均し、S&Pの格付けに準拠して表記しております。(AAA(最高)からD(最低))格付け機関3社すべてによる格付けが取得できる場合はその中央値、格付け機関2社による格付けが取得できる場合は低い方を採用、取得できる格付けが1社のみの場合はその1社の格付けを採用します。
※当ETFに係る「信用格付け(%)」につきまして、2019年6月末よりデータソースを変更致しました。
データソースの変更により、投資信託協会の定める基準により用いるデータに代わり、当社データを用いて「信用格付け(%)」を表示しております。

分配金実績

| 決算日 | 分配金単価(円) |
|-------------|----------|
| 2024年04月11日 | 12.0000 |
| 2024年01月11日 | 11.0000 |
| 2023年10月11日 | 11.0000 |
| 2023年07月11日 | 8.0000 |
| 2023年04月11日 | 8.0000 |

※ 分配金は税引き前、1口当たり。
※ 収益の分配は、原則として、毎決算時に、信託財産から生ずる配当等収益の合計額から経費を控除した額の全額を分配します。ただし、その一部または全部を分配準備積立金として、次期以降の分配に充当することができます。
※ 将来の分配金の支払いおよびその金額については保証するものではありません。

当ファンドにかかる手数料・費用等について

売買時の手数料(取引所で売買する場合)

当ファンドを売買する際の手数は取扱金融商品取引業者(証券会社)等によって定められます。詳しくは取扱金融商品取引業者までお問い合わせください。

購入時手数料(指定参加者で一定口数以上の取得申込を行う場合)

指定参加者が定める申込手数料(消費税等相当額を含む。)を投資者から徴収することができるものとします。詳しくは、指定参加者にお問い合わせください。

追加信託執行コスト相当額

購入時に、購入受付日の翌営業日の基準価額に委託会社が定める率を乗じて得た額が追加信託執行コスト相当額としてかかります。

一部解約執行コスト相当額

換金時に、換金受付日の翌営業日の基準価額に委託会社が定める率を乗じて得た額が一部解約執行コスト相当額としてかかります。

換金(買取)時手数料(指定参加者で一定口数以上の交換請求等を行う場合)

指定参加者は、投資者が換金を行なうときおよび受益権の買取りを請求するときは、当該投資者から、指定参加者が独自に定める手数料(消費税等相当額を含む。)を投資者から徴収することができるものとします。詳細は、指定参加者にお問い合わせください。

運用管理費用(信託報酬)

ファンドの純資産総額に対して年0.154%(税抜0.14%)の率を乗じて得た額。運用管理費用(信託報酬)は毎計算期末、または信託終了のときファンドから支払われます。

その他の費用・手数料

上場に係る費用、対象指数の商標の使用料についてファンドの純資産総額の年0.04125%(税抜0.0375%)を上限として、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。ファンドの諸経費、売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等は、その都度もしくは日々計上され、その都度もしくは毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。有価証券の貸付を行なった場合はその都度、信託財産の収益となる品賃料の2分の1相当額以内が報酬としてファンドから運用の委託先等に支払われます。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当ファンドにかかる主なリスクについて

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドに係る主なリスクは以下のとおりです。

金利変動リスク

米国の国債に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

信用リスク

米国の国債に投資します。投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、債券の格付の変更により債券の価格が変動することがあり、それに伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

為替変動リスク

外貨建資産に投資します。為替変動リスクの低減を図ることを目指し、原則として外貨建資産に対して為替ヘッジを行ないますが、為替変動による影響の全てを回避することはできません。またヘッジ対象通貨の金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。

カントリー・リスク

米国の国債に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、債券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

デリバティブ取引のリスク

デリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響からファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

有価証券の貸付等におけるリスク

有価証券の貸付等において、取引先リスク(取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる危険のこと)が生じる可能性があり、損失を被ることがあります。

市場価格と基準価額の乖離要因

取引所での市場価格は取引時間中に変動するものであり、取引所における需給のバランスや売買高の状況、各種取引規制、投資対象市場と取引市場の時差または取引日の相違等の影響を受けることにより、ETFの市場価格は基準価額から乖離することがあります。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載の「投資リスク」をご覧ください。

「FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用 円ヘッジ円ベース)」の著作権等について

FTSE米国債7-10年セレクト・インデックス(国内投信用 円ヘッジ円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

©2024BlackRock Japan Co., Ltd. All Rights Reserved. iShares®(iシェアーズ®)およびBlackRock®(ブラックロック®)はブラックロック・インクおよび米国その他の地域におけるその子会社の登録商標です。他のすべての商標、サービスマーク、または登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会:一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 投資信託協会／

日本証券業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

BLACKROCK®

サステナビリティ特性

サステナビリティ特性は、投資家が非財務情報を投資プロセスに組み入れる際に役立つ指標であり、これにより、環境、社会、およびガバナンス(ESG)のリスクと機会に基づいたファンドの評価に資する情報です。この特性分析は、ファンドの効果的な運用と長期的な財務の見通しについての情報を提供することを目的としています。

以下の指標は、透明性の確保と情報提供のみを目的とするものです。当ESGレーティングは、ESG要因のファンドへの組み入れの有無、また組み入れの方法を示すものではありません。当指標はMSCI ESGファンドレーティングに基づいて提供されるものであり、ファンドの目録見書に投資目的に関する記載が別途ある場合を除き、ファンドの投資目的を変更、またはファンドの投資対象を制限するものではありません。また、ファンドがESGやインパクトに焦点を当てた投資戦略やスクリーニングを行うことを示唆するものではありません。ファンドの投資戦略の詳細については、ファンドの目録見書を参照してください。

| | | | |
|----------------------------------|---------------------|--|--------|
| MSCI ESGファンドレーティング(AAA~CCC) | A | MSCI ESGクオリティスコア(0~10) | 5.86 |
| MSCI ESGクオリティスコア - ピア比較パーセンタイル 値 | 83.13% | MSCI ESGカバー率(%) | 99.99% |
| リッパー・グローバル分類 | Bond USD Government | MSCI加重平均炭素排出原単位 カarbon排出量(単位:トン)/売上高(単位:百万米ドル) | - |
| ピアグループ内ファンド | 160 | | |

すべてのデータは、**31 3 2024** の保有状況に基づき、**21 4 2024** のMSCI ESGファンドレーティングから取得したものです。したがって、ファンドのサステナビリティ特性は、直近のMSCI ESGファンドレーティングとは異なる場合があります。

MSCI ESGファンドレーティングは、ファンドの65%以上(グロス・ウェイトによる算出、なお債券ファンドとマネーマーケットファンドの場合には50%以上)の保有銘柄がMSCI ESGリサーチの対象となっているファンドに付与されます(MSCIによるESG分析に関係しないと見なされる現金ポジションやその他の資産は、リサーチ対象銘柄のグロス・ウェイトを算出する際に控除されます。ショートポジションの絶対値は算出に含まれますが、リサーチの対象外として扱われます。)また、銘柄の保有状況は1年以内の基準日のものとし、ファンドには10銘柄以上が必要です。

ESG用語集:

MSCI ESGファンドレーティング(AAA~CCC):MSCI ESGレーティングは、ESGクオリティスコアを格付けに直接マッピングしたものです(例:AAA = 8.6-10)。ESGレーティングの範囲は、上位(AAA, AA)、平均(A, BBB, BB)から下位(B, CCC)までです。

MSCI ESGクオリティスコア - ピア比較パーセンタイル値:リッパー・グローバル分類で定義されるピアグループ内で比較した際のファンドのESGパーセンタイル値。

リッパー・グローバル分類:リッパー・グローバル分類で定義されるファンドのピアグループ。

ピアグループ内ファンド:リッパー・グローバル分類で定義されるピアグループに含まれるファンドでESGデータの対象となるものの数。

MSCI ESGクオリティスコア(0~10):ファンドのMSCI ESGクオリティスコア(0~10)は、保有銘柄のESGレーティングを加重平均し算出されます。MSCIは、業種固有のESGリスクへのエクスポージャーならびに同業他社と比較してそれらのリスクを管理する能力に応じて発行体の格付けを行います。

MSCI ESGカバー率(%):ファンドの保有銘柄のうちMSCI ESGレーティングが付与されているものの割合(%)。MSCI ESGファンドレーティング、MSCI ESGクオリティスコア、及びMSCI ESGクオリティスコア-ピア比較パーセンタイル値指標は、カバー率が65%以上のファンド(債券ファンドとマネーマーケットファンドの場合には50%以上)について表示されます。

MSCI加重平均炭素排出原単位 カarbon排出量(単位:トン)/売上高(単位:百万米ドル):MSCI加重平均炭素排出原単位は、炭素排出強度の高い企業へのファンドのエクスポージャーを測定するもので、ファンドの保有銘柄における売上高100万米ドルあたりの温室効果ガス排出量の推定値を表します。これにより規模の異なるファンド間での比較が可能になります。

MSCI加重平均炭素強度カバー率(%):ファンドの保有銘柄のうち、炭素排出原単位データがMSCIより入手可能な銘柄の割合。MSCI加重平均炭素強度指標は、カバー率が0%ではないすべてのファンドについて表示されます。そのため、カバー率が低いファンドにおいては、ファンドの炭素排出に関する特性が十分に提供されていない場合があります。

ここに記載する情報(以下「本情報」)は、1940年投資顧問法に基づくRIAであるMSCI ESG Research LLCが提供するものであり、その関連会社(MSCI Inc.とその子会社(以下「MSCI」を含む)、または第三者(以下「情報提供者」)から入手したデータを含むことがあり、その全部または一部を書面による事前の許可なしに複製または再配布することは禁止されています。本情報は、米国証券取引委員会(SEC)またはその他の規制当局に提出されたもの、もしくは承認を受けたものではありません。本情報は、派生商品の作成またはそれに類する目的で使用することはできません。また本情報は、いかなる有価証券、金融商品および商品、または取引戦略の売買提供、勧誘または推奨を行うものではなく、将来的な業績、分析、予測または予想を示唆または保証するものではありません。ファンドによってはMSCI指数をベースとするもの、もしくはMSCI指数に連動するものがあり、MSCIはファンドの運用資産残高やその他の指標に基づいて報酬を得ることがあります。MSCIは、株価指数調査と本情報の間に情報共有の制限を設けています。本情報を使用して、売買する有価証券または有価証券を売買するタイミングを判断することはできません。本情報は「現状のまま」提供されており、本情報の利用者は本情報の利用に際して発生するもしくは発生しうるあらゆるリスクを負うものとします。MSCI ESGリサーチおよび情報提供を行う当事者は、明示的か黙示的であるかを問わず、あらゆる保証を明示的に否認します。また、本情報の誤りや脱落またはそれらに関連する損害について責任を負いません。上記は、適用法で除外または制限できない責任を除外しようとするものではありません。